

卒後13年目の研修医

総合臨床研修医 片野俊英

「おーい、おーい」

今日も91才のOさんの声が病棟内に響きわたる。朝の申し送り後の忙しい病棟内では誰も気にかける人もいない。私が朝の回診で訪れると、それまでの険しい表情がやわらぎ、手を差し出す。握ってあげるとにこっと笑うわけではないが、なんとなく柔らいだ表情でずっと握っている。何も心配ないからね、と話しかけその場を離れると、暫くしてまた「おーい、おーい」……。

赤ちゃんが泣けば、その場に母親が来てすぐだっこしてあやしてあげるのに、こういった高齢の方に対しては、いったい誰が傍に居てあげればいいのか。奥さん、御主人？しかし配偶者も病気、あるいは先に他界している場合は？息子、娘さん？欧米の病院であれば病院にいる牧師さん等がついていてあげるのだろうか？そこに居るだけで、手を握っているだけで安心するのだろうか。高齢の患者さんに対するなんらかの心のケアもできればいいのに。

などということを考えたりもしながら卒後13年目の研修生活を送っています。今まで小児科医だったのが今なぜ内科で仕事をしているのか知らない方々も多いと思いますので、私の現在の立場をお知らせします。現在私は、北海道の「過疎地勤務医総合臨床研修事業」に参加して研修をしています。名前の通り、将来道の医療過疎地での勤務を希望する医師に研修の場を与えてくれる制度です。今までもこの制度はあったものの、旭川か札幌の病院でしか研修ができなかったのが、久保田宏先生のご尽力により地方センター病院での研修ができるようになりました。私がその第1号として、道北地区のセンター病院であるここ名寄市立病院で研修させて頂いています。新卒ではなく、臨床経験がある医師が地方の病院で勤務するに当たり足りないと思われる部分を研修させて頂くので、2年以内で比較的自由に自分の希望の研修が可能です。私の場合、瀧本昌俊先生をはじめ旭川医大小児科の先生方にお世話になり小児科医としてこ

れまで仕事をしており、今後は外科医がいる病院で「ゆりかごから墓場まで」というと大袈裟ではありますが内科小児科医として勤める希望です。このため、平成14年10月から平成16年3月までの1年半で消化器内科と循環器呼吸器内科を半分づつ研修させて頂く予定です。内科だけではなく、内科より紹介する外科症例や、それ以外にも入院患者さんに関連して、あるいは救急外来を通して、他科の先生方にも様々な面で御指導頂いております。

将来道北で仕事をして行く上で名寄へお願いする患者さんは必ずあり、ここで研修させて頂く事が患者さんをお願いする上で必ずメリットになると感じますし、あるいは、お願いした患者さんの病状が落ち着けば再び地元で私が診ていく事も可能かとも思います。先生方の外来の負担を少しでも減らせる上、患者さんにとっても名寄まで通わなくても済むように、ぜひ御紹介をお願いする次第であります。どこまで地元で診る事ができ、どこから名寄へお願いするかを見きわめる力をつけるのを目標に研修しています。

瀧本昌俊先生はすでに名寄東病院で「ゆりかごから墓場まで」を実践なさっています。久保田宏先生も現在風連国保病院での診療をおこなって下さっております。現在歌登国保病院院長の渡辺広史先生も、去年同事業の短期研修制度で約1か月にわたり消化器内科で研修をされました。大学医局主導ではなく、名寄を中心とした医師間のネットワークが将来構築されれば道北地方の医療も一層充実するのではないかと期待をしています。研修期間はあと数か月間ですが、研修後にも名寄市立病院の皆様にはお世話になる事が多々あるかと存じます。今後とも御指導の程宜しくお願いいたします。

最後に、終了した消化器内科での研修内容のまとめを以下にしるします。御指導頂きました谷光憲先生をはじめ消化器内科の先生方に感謝申し上げます。(循環器呼吸器内科の研修内容につきましても、終了時に佐古和廣院長に報告する予定です。)

消化器内科

研修期間 平成14年10月—平成15年7月
外 来 木曜日午前中(初診も含め)を担当
入 院 受け持ち 161例 (病名重複あり)
sterben 12例

食道, 胃, 十二指腸疾患 37

食道裂孔ヘルニア	2	食道癌	2
食道静脈瘤	1	急性胃炎	8
胃潰瘍	6	胃癌	5
胃ポリープ	2	胃粘膜下腫瘍	2
マロリーワイス症候群	4	十二指腸潰瘍	5

腸疾患 70

急性腸炎	8	虚血性大腸炎	6
偽膜性大腸炎	4	潰瘍性大腸炎	1
大腸癌	9	直腸癌	2
癌性腹膜炎	1	腸閉塞	5
大腸ポリープ	33	虫垂炎	1

肝, 胆, 膵疾患 37

C型肝炎	3	薬剤性肝炎	1
アルコール性肝炎	5	B型肝炎硬変	2
C型肝炎硬変	1	アルコール性肝硬変	4
肝細胞癌	2	脂肪肝	1
胆嚢炎	2	胆石症	2
総胆管結石	3	胆管癌	3
急性膵炎	3	膵臓癌	5

糖尿病 46

糖尿病性ケトアシドーシス 1
糖尿病性壊疽 1
その他 12 (腎不全, SLE, 多発性筋炎 等)

手技等

gastric fiber (生検を含む) 術者 多数
内視鏡的止血術 術者 数例
介助 多数
EVL 介助
EMR(gastric polyp) 介助
MDL 術者
colon fever 術者 多数
EMR(colon polyp) 術者 10数例
介助 多数
注腸造影 術者
イレウス管挿入 術者 数例
介助 多数
ERCP, ERBD, EST, 内視鏡的碎石術等 介助
腹部超音波 術者 多数
肝生検 術者 数例
介助 多数
腹部血管造影 介助
その他 (腹水穿刺, IVH挿入等)

